

# Hirata

The Global Production Engineering Company

## 2016年3月期 第2四半期 決算説明資料

2015.11.26

### 平田機工株式会社



# I 決算状況

2016年3月期 第2四半期 (2015年11月26日)

**Hirata**



## 決算概要

自動車関連生産設備事業において、北米メーカー向けのパワートレイン関連設備や国内メーカー向けの部品関連設備などが堅調に推移し、また、掃除機、タイヤなどの家電関連その他生産設備事業も堅調に推移した結果、全体では対前年同期比増収。各利益とも2倍以上の増益となった。

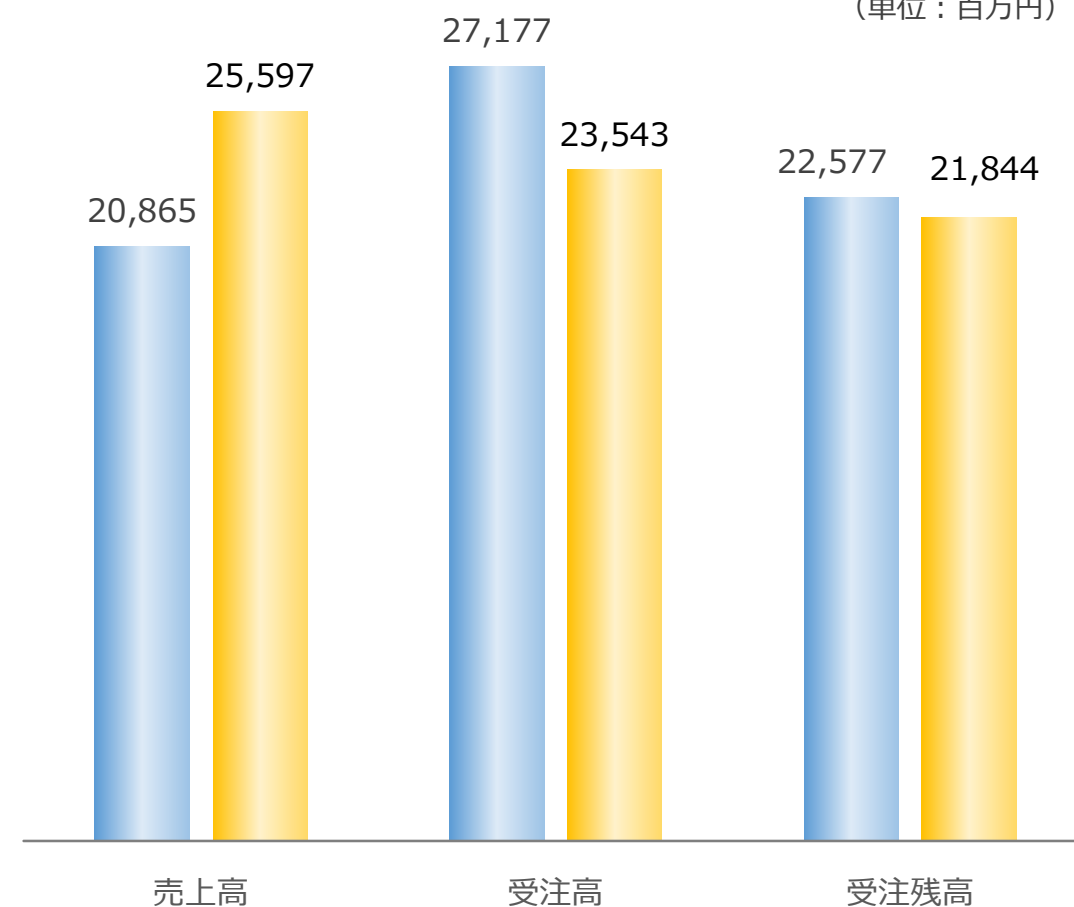
(単位：百万円)

	2015年3月期 第2四半期 実績	2016年3月期 第2四半期 実績	増減率
売上高	20,865	25,597	+22.7%
営業利益	842	1,713	+103.4%
経常利益	818	1,637	+100.1%
親会社株主に帰 属する 四半期純利益	452	958	+111.7%

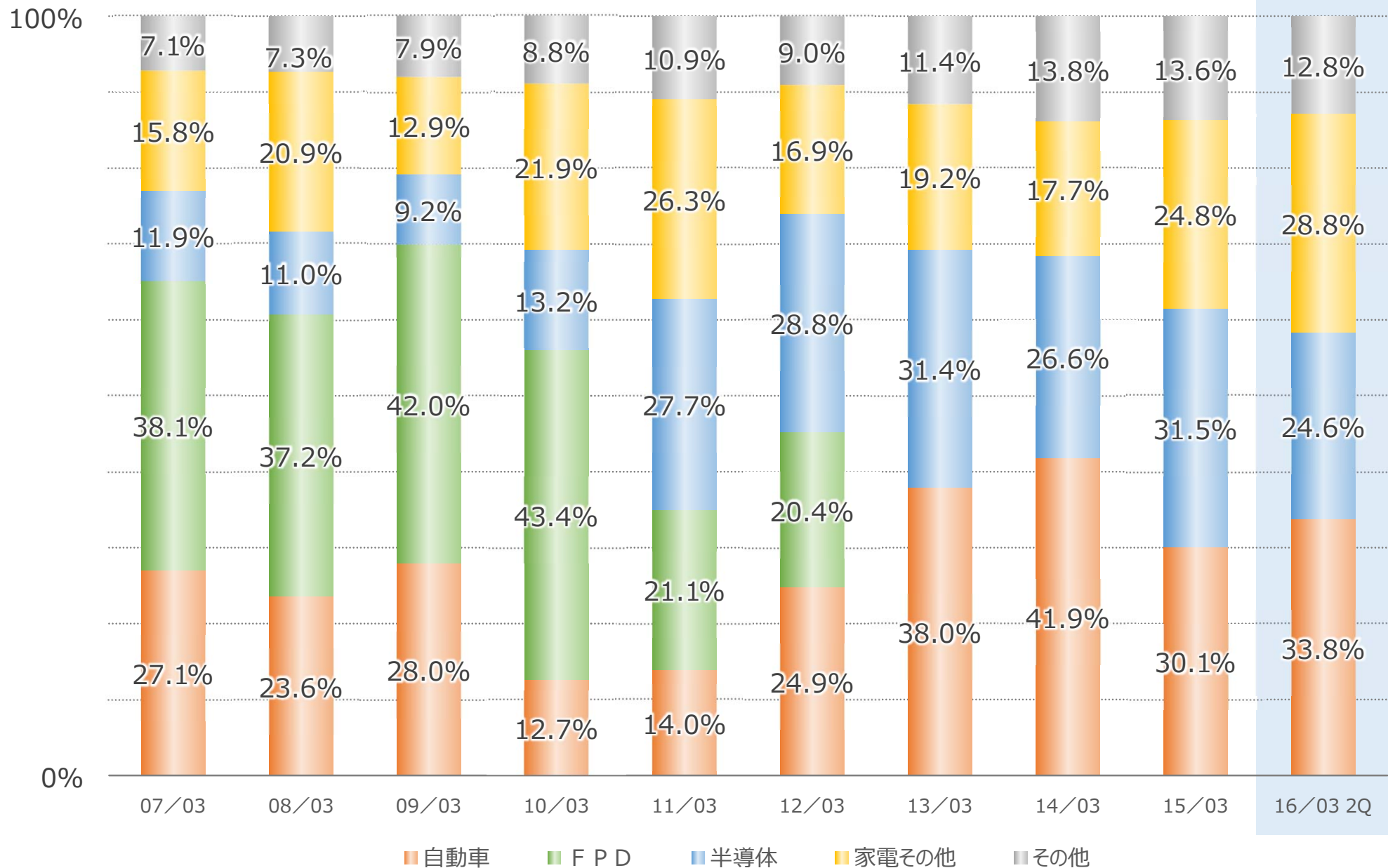
■ 2015年3月期 2Q

■ 2016年3月期 2Q

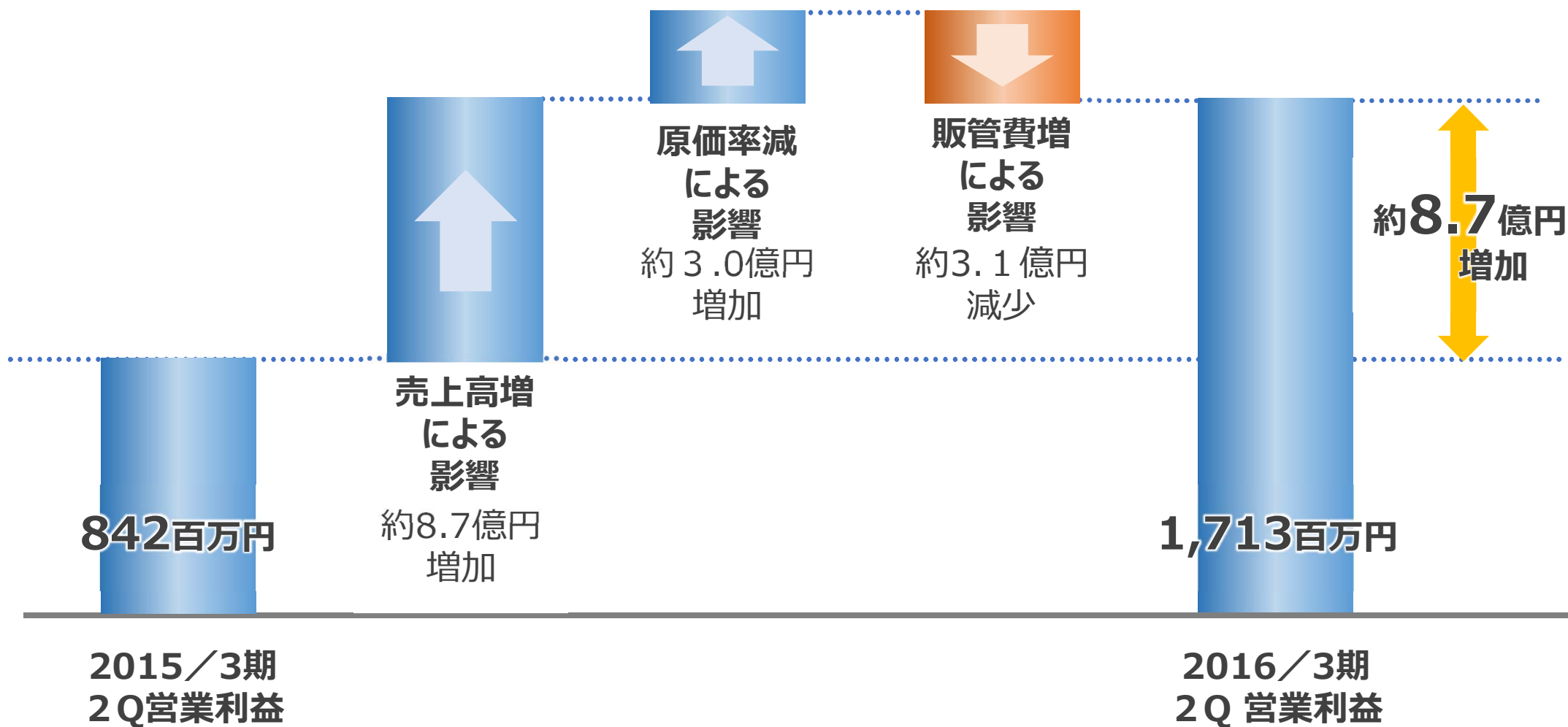
(単位：百万円)



# I 決算状況 事業部門別売上高構成比推移



※2013年3月期より、FPD関連事業は半導体関連事業に統合



## 貸借対照表

(単位：百万円)

資産	2015年3月期	2016年3月期 2Q	増減	負債	2015年3月期	2016年3月期 2Q	増減
流動資産	42,033	39,608	△2,425	流動負債	28,351	27,948	△403
固定資産	19,764	20,434	+670	固定負債	11,582	8,708	△2,873
有形固定資産	15,705	15,609	△96	負債合計	39,933	36,657	△3,276
無形固定資産	432	429	△2	純資産			
投資その他資産	3,627	4,396	+769	純資産合計	21,864	23,386	+1,521
資産合計	61,798	60,043	△1,754	自己資本比率	34.9%	38.4%	+3.5point

### 主な増減項目

#### 資産

受取手形及び売掛金	△3,675
仕掛品	+1,324
投資有価証券	+262

#### 負債・純資産

支払手形及び買掛金	△1,155
有利子負債合計	△1,317
利益剰余金	+801



# I 決算状況 想定為替レートなど

## 想定為替レート

(単位：円)

	2015年4月1日～9月30日 実績レート	2015年10月1日～ 想定レート
為替レート (対US \$)	113.57	116.00

## 株価推移

(単位：円)

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年3月期		
			7月	8月	9月
最高	1,050	917	1,183	1,209	987
最低	451	560	980	801	830
末日	658	799	1,049	945	865

## PER/PBR/ROE

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期 2Q
PER (倍)	8.14	8.76	9.41
PBR (倍)	0.36	0.39	0.39
ROE (%)	4.5	4.7	—

# I 決算状況 事業部門別売上高・受注高・受注残高

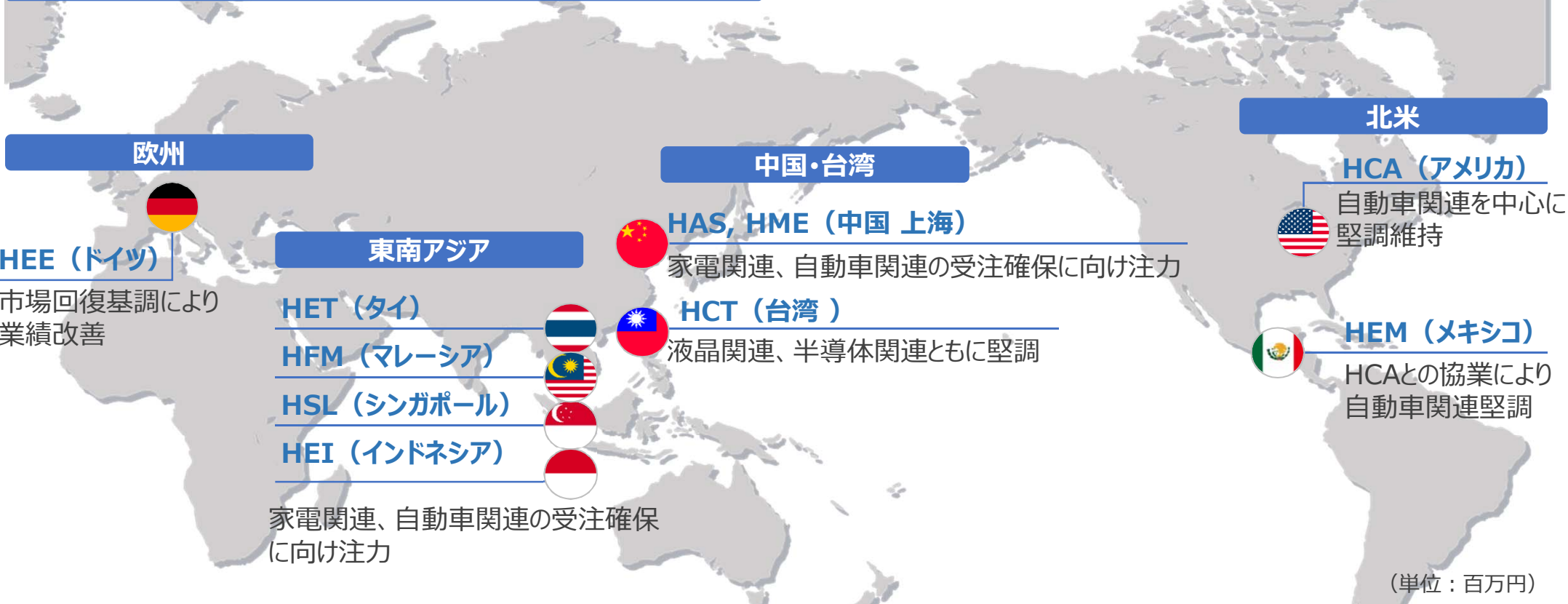
(単位：百万円)

	事業部門	2015/3 2Q	2016/3 2Q	対前年同期比 増減率
売上高	自動車	6,024	8,661	+43.8%
	半導体	6,908	6,299	△8.8%
	家電関連およびその他	4,712	7,360	+56.2%
	その他	3,220	3,276	+1.8%
	合計	20,865	25,597	+22.7%
受注高	自動車	9,609	6,319	△34.2%
	半導体	6,441	8,037	+24.8%
	家電関連およびその他	7,763	5,528	△28.8%
	その他	3,363	3,657	+8.7%
	合計	27,177	23,543	△13.4%
受注残高	自動車	9,728	7,462	△23.3%
	半導体	3,718	5,411	+45.5%
	家電関連およびその他	7,212	7,339	+1.8%
	その他	1,916	1,631	△14.9%
	合計	22,577	21,844	△3.2%



# I 決算状況 海外現地法人の状況

## 所在地別売上高



	日本		アジア		北米		欧州		合計	
	15/3 2Q	<b>16/3 2Q</b>	15/3 2Q	<b>16/3 2Q</b>	15/3 2Q	<b>16/3 2Q</b>	15/3 2Q	<b>16/3 2Q</b>	15/3 2Q	<b>16/3 2Q</b>
売上高	16,389	<b>20,572</b>	3,329	<b>3,377</b>	985	<b>1,352</b>	161	<b>294</b>	20,865	<b>25,597</b>
営業利益	525	<b>1,989</b>	133	<b>△89</b>	149	<b>△175</b>	△10	<b>△2</b>	798	<b>1,721</b>

※営業利益の合計はセグメント間の消去を行う前の金額を表示しています。

# I 決算状況 トピックス

## 工作機械向けパレット自動供給搬送システムの開発

当社は、最大可搬重量4トンを搬送できる、工作機械向けパレット自動供給搬送システムを開発しました。本システムを導入することで、工作機械に多品種加工物を自動供給し、加工後の排出・搬送、保管など、24時間を超える連続生産が可能となります。

当社は、内製化および生産性の向上の取り組みとして、本システムを9月から社内に導入し、生産性2倍を実現いたしました。工作機械の稼働率および生産性の向上は、製造業などにおいて共通の課題です。実績により、自信を持って提供できるシステムです。小型および中型の工作機械向けのシステムも計画しており、今後、一般製造業へ販売していきます。

### ■ 製品の特長

- (1) 最大可搬重量4トン、24時間以上の連続稼働を実現し、省人化に貢献
- (2) 加工品 段取機により作業負荷が軽減し、安全性が向上
- (3) 各ユニットのモジュール化により、お客さまの工場に柔軟対応



当社に導入したシステムのイメージ



加工品をセツトするための  
ワークセツトステーション

## 中国の子会社HAS 10周年記念式典開催

当社の子会社で中国上海市に本社を置くHirata Automated Machinery (Shanghai) Co.,Ltd.(HAS)が、設立から10年を迎えました。2006年10月に、Hirataのグローバル展開の中心を担う工場として設立以来、各種生産システムや産業用ロボットおよび物流関連機器などの設計、製造ならびに販売を行っています。

10月21日、HASにて記念式典を開催し、政府関係者、お客さま、ならびに平田社長、HAS社員など総勢約200名の参列により、お客さまなどへの日頃のご支援に感謝すると共に、社員の労をねぎらいました。今後もHASは、当社および関係会社との連携により、たゆまぬ技術革新を続け、お客さまの生産性向上に貢献してまいります。



Hirata Automated Machinery (Shanghai) Co.,Ltd.(HAS)



式典の様子



# I 決算状況 トピックス

## — お客さまから表彰

### ●大和ハウス工業株式会社から感謝状

5月25日、大和ハウス工業株式会社より、個人注文住宅xevo(ジューヴォ)Σ(シグマ)の外壁パネル生産ラインにおいて、緻密なスケジュール管理による短納期対応などが評価され、感謝状をいただきました。本ラインは、当社製の直交型ロボットなど200台以上が採用され、大和ハウスの岡山工場、奈良工場、栃木工場で稼働しています。

### ●ダイソン社 (Dyson Ltd.) より2年連続表彰

6月16日、当社は「Recognition award lean (ダイソン社の方針に沿った対応への功労賞)」を受賞しました。昨年の優良サプライヤーに続き、2年連続の受賞です。

当社は、ダイソン社から掃除機のモーター生産設備を多数受注しており、今回は同社の主力製品である、コードレスクリーナー用V6モーター組立ラインにおける600万台/年の生産体制の構築、ムダをなくした小型化高精度の実現、スピードある柔軟な対応などが評価され、受賞となりました。



# Ⅱ 2016年3月期業績の見通し

2016年3月期 第2四半期 (2015年11月26日)

**Hirata**



### 自動車関連事業

北米市場は、引き続き原油価格が低水準で推移しており、SUV、ピックアップトラックなどの需要増が続く。これを牽引役として北米メーカー、日系メーカーともに堅調。中国市場は景気減速懸念はあるものの日系メーカーのシェアは回復している。当社顧客もおおむね好調であり、引き続き受注が期待できる。

### 半導体関連事業

中国の景気減速懸念やパソコン需要の低迷などにより、半導体製造装置の需要動向は鈍化傾向にあるが、当社については引き続きスマートフォン・タブレット端末向けパネル組立装置や大型の製造受託案件の引き合いが続いている。

### 家電関連およびその他

家電は東南アジアなど、新興国での需要増が続く見込み。また、タイヤについては北米の自動車市場が堅調なことから、引き続き需要の増加が見込まれる。当社については掃除機関連、タイヤ関連の受注が続く見込みである。さらに、住宅メーカーから外壁パネル生産ラインなどの引合いも続いている。



## II 2016年3月期業績の見通し 業績予想

※業績予想に変更はありません。

(単位：百万円)

	2015年3月期実績		2016年3月期予想	
<b>売上高</b>	52,145		<b>55,000</b>	
自動車関連	15,713		<b>18,000</b>	
半導体関連	16,402		<b>16,000</b>	
家電関連およびその他	12,916		<b>15,000</b>	
その他	7,113		<b>6,000</b>	
<b>営業利益 (率)</b>	2,123	(4.1%)	<b>2,300</b>	<b>(4.2%)</b>
<b>経常利益 (率)</b>	1,962	(3.8%)	<b>2,200</b>	<b>(4.0%)</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益 (率)</b>	946	(1.8%)	<b>1,400</b>	<b>(2.5%)</b>

### 事業計画達成のための施策

下半期は高い生産負荷が続く見込みであり、各事業部間のリソースの活用による負荷調整および個々の案件の確実な利益確保に注力する。中国の景気減速懸念はあるものの、堅調な米国の自動車関連や半導体、家電関連の引合案件を着実に受注に結びつけることにより連結業績予想達成を見込む。

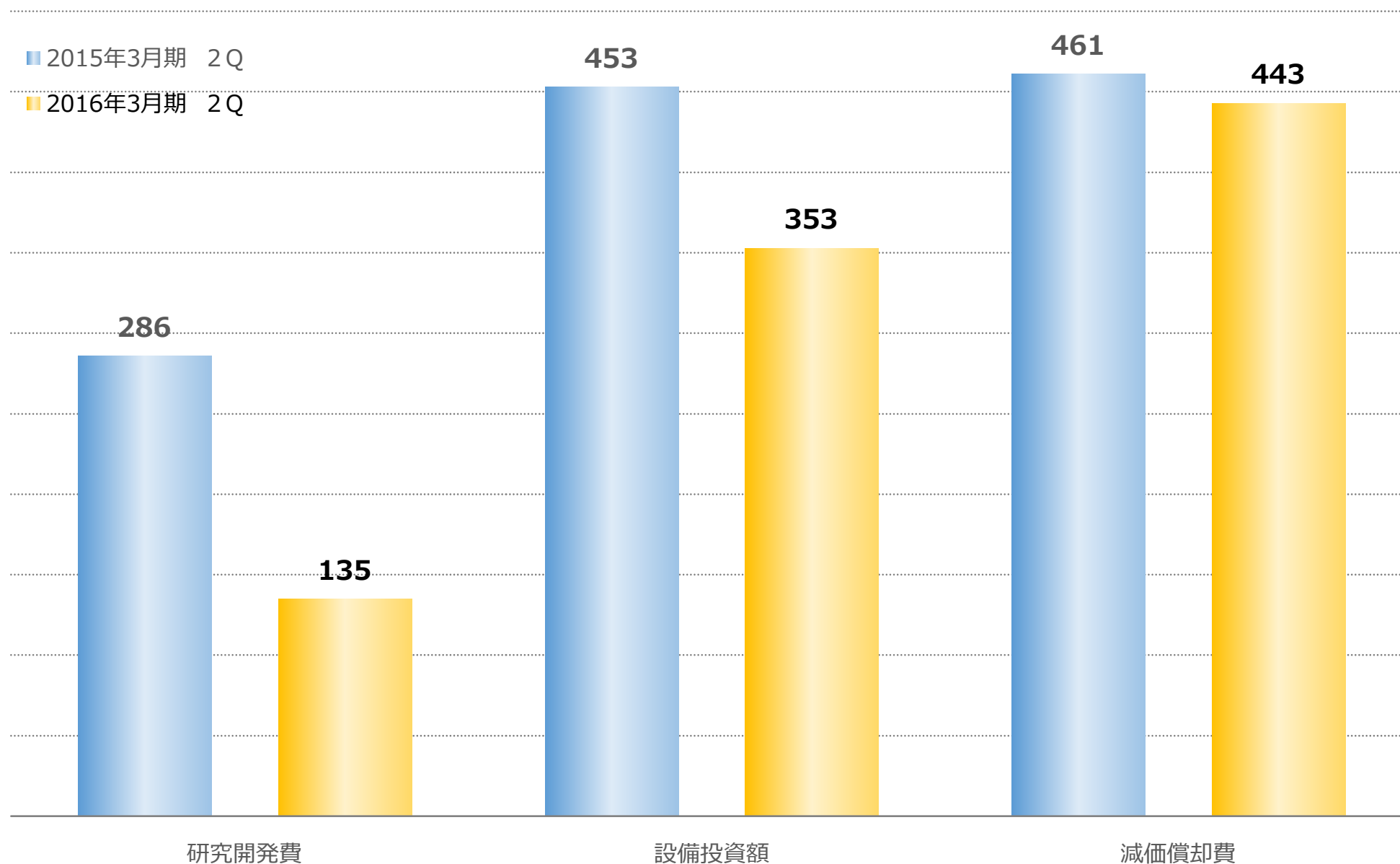
# Ⅲ 参考資料

2016年3月期 第2四半期 (2015年11月26日)

**Hirata**

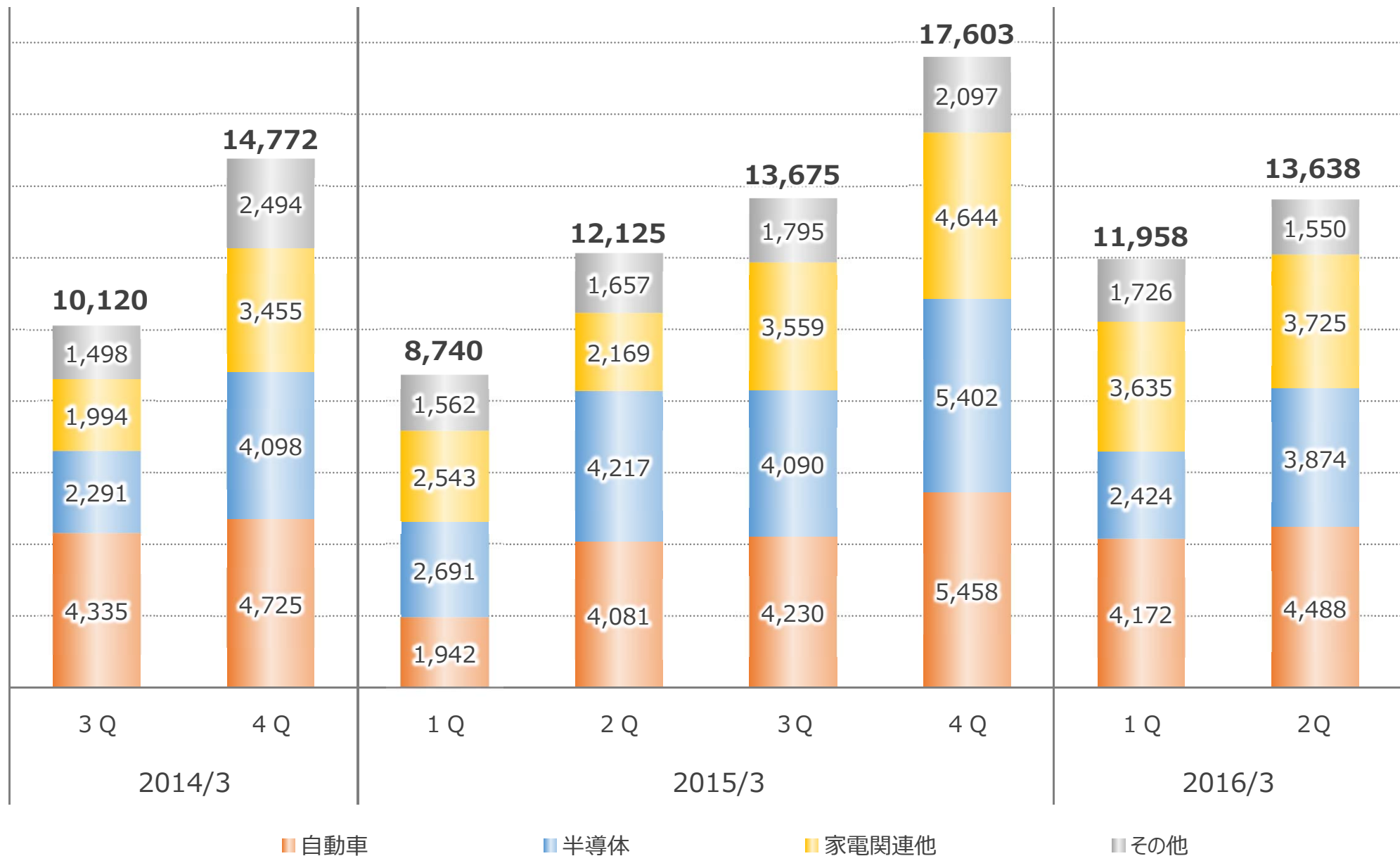


(単位：百万円)



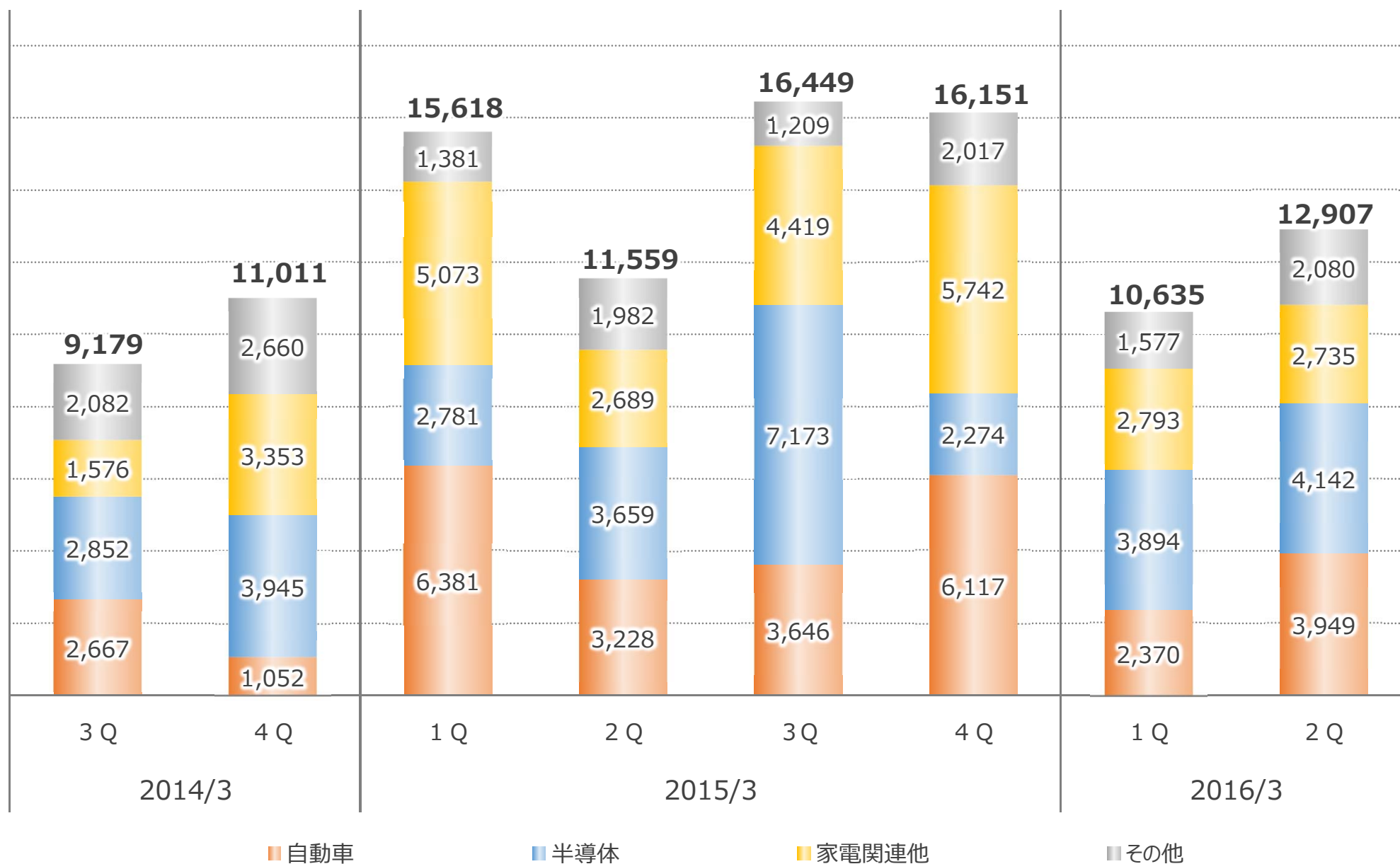
## 事業部門別四半期売上高の推移

(単位：百万円)



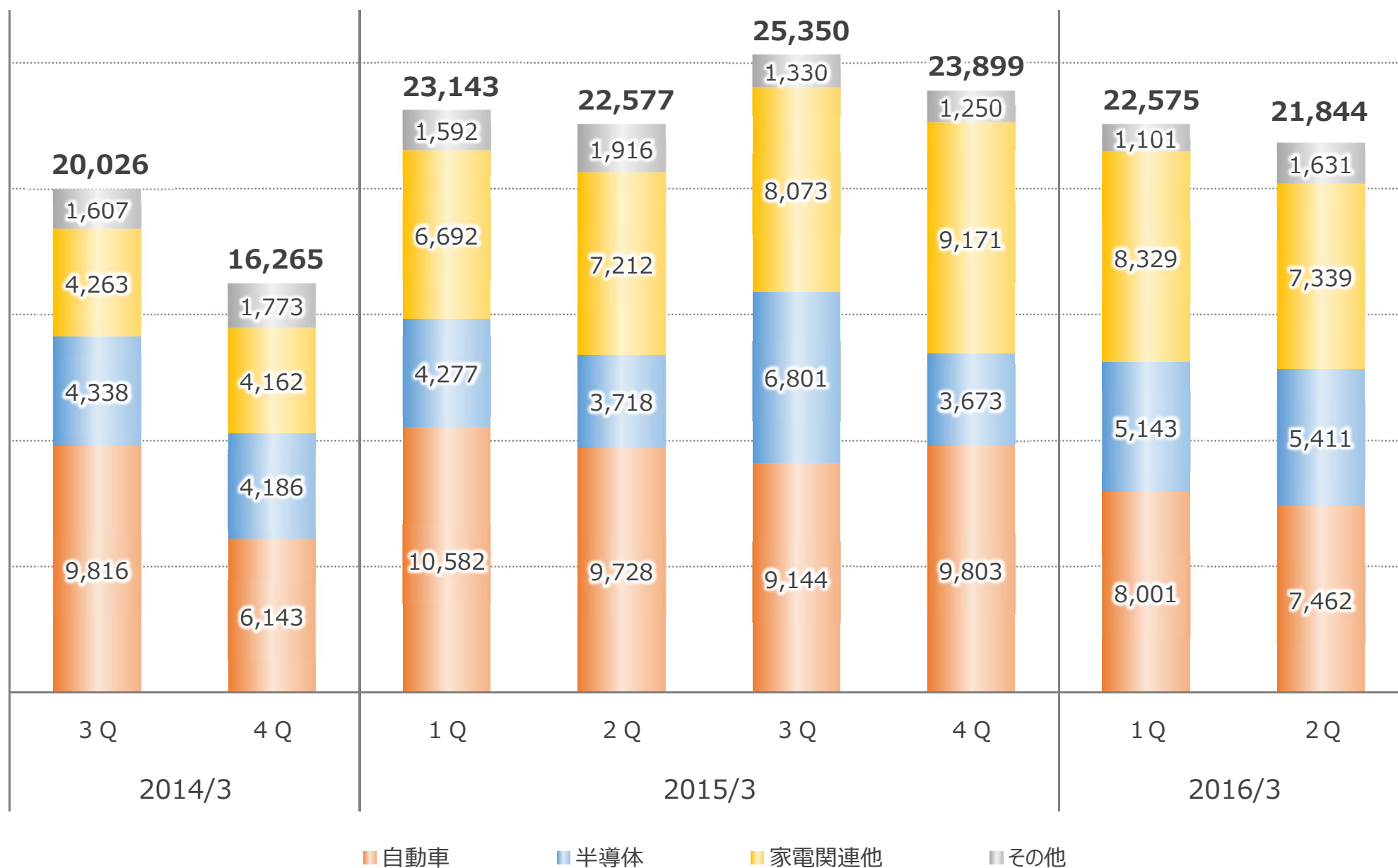
## 事業部門別四半期受注高の推移

(単位：百万円)



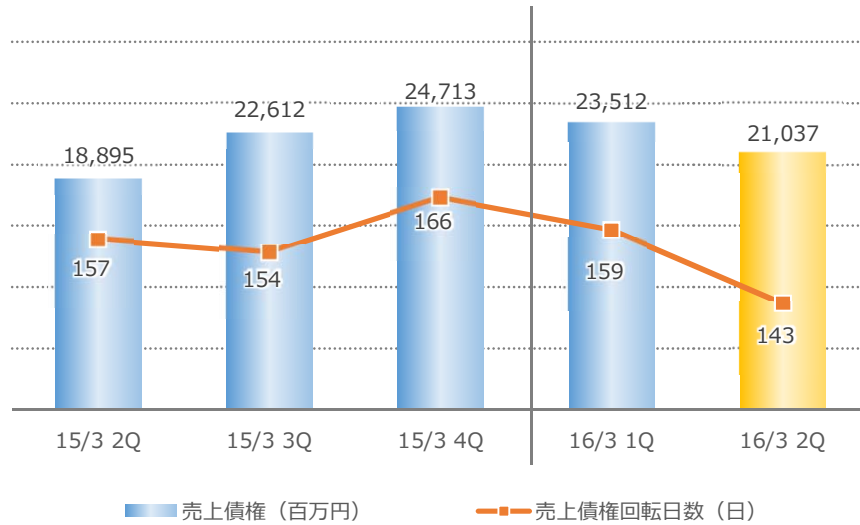
## 事業部門別四半期受注残高の推移

(単位：百万円)

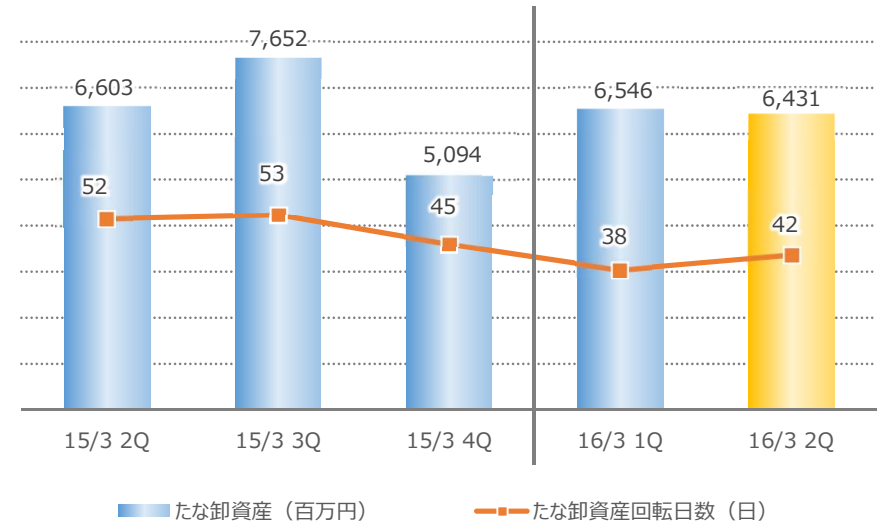




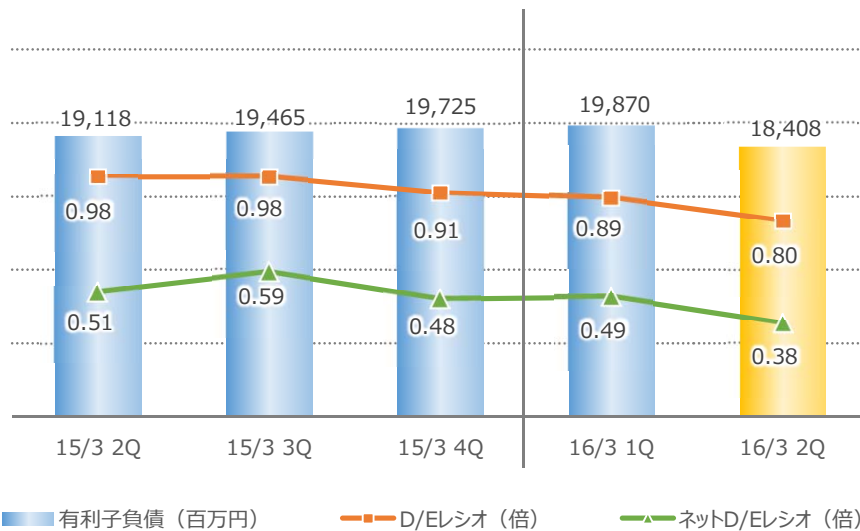
## 売上債権・売上債権回転日数



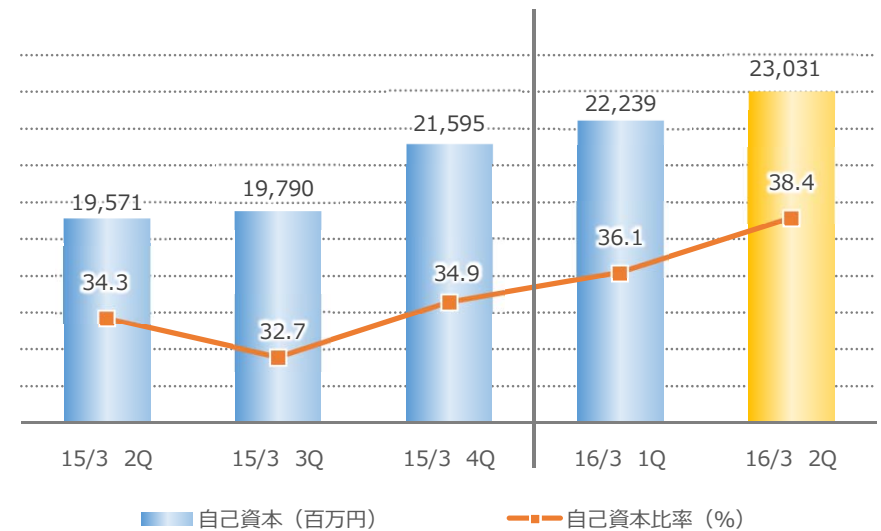
## たな卸資産・たな卸資産回転日数



## 有利子負債残高・D/レシオ・Net D/レシオ



## 自己資本・自己資本比率



【注】売上債権回転日数、たな卸資産回転日数については、各四半期毎の期中平均値にて算出しております。

## ご注意

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、経済動向、他社との競争状況、為替レートなど潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化などの様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。